



子どもの目線、自由な発想で まちづくりに提言

「ただ今から、槻木小学校6年生による子ども議会を開会いたします」2月9日、子ども議会が、町議会本会議場で行われました。初めて議場に足を踏み入れた「子ども議員」は、その独特の雰囲気に対し緊張気味でしたが、一般質問が始まると堂々と登壇。「学校に太陽光発電を」や「子育て支援の施設を増やそう」など大人顔負けの質問を町長に投げかけました。

- しばたまち交流広場「ゆる・ぷら」がオープン
- 地域包括支援センターが移転

町民の活動を つなぐ ・ 育てる ・ 応援する

しばたまち交流ひろば

イオンタウン柴田
ショッピングセンターに

ゆる・ぷら

オープン



ゆる・ぷら「ゆる・ぷら」

町では、皆さまが気軽に利用できる、にぎわいのあ
るひろばづくりを進めてき
ました。「気軽に立ち寄って、
おしゃべりしたい」「私たち
の思いや考えで使えたらいい」
「楽しい情報や役に立つ情
報が欲しい」「伝えたい情
報を発信したい」そんな思
いを持った人たちをつなげ、
輪を広げるひろばがイオン
タウン柴田ショッピングセ
ンター内にオープンしまし
た。名称は、しばたまち交
流ひろば「ゆる・ぷら」です。

ぷらつと気軽に立ち寄り、
ゆるゆるとくつろいでいた
だきたい思いから名付けら
れました。

「ゆる・ぷら」は、個人や
団体で設備やスペースを利
用して学習や交流をするこ
とができます。ほかにも、
情報の受け入れ発信、展示
会や発表会などにも利用で

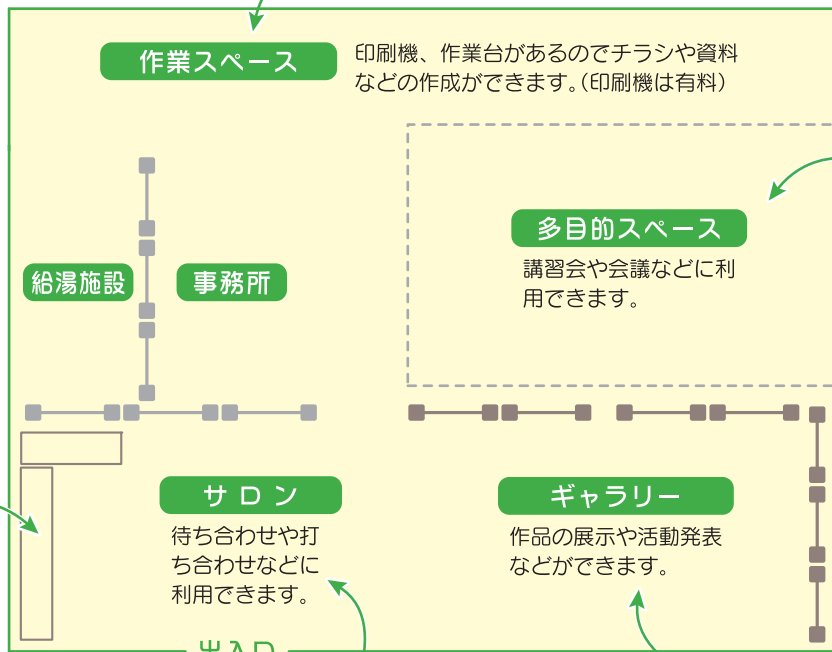
きます。また、皆さまから
の提案により、ゆる・ぷら事
業として協働で実施してい
くことも可能です。

利用の約束手続きはありま
すが、できるだけ多くの方々
が利用できるようにしてい
きます。

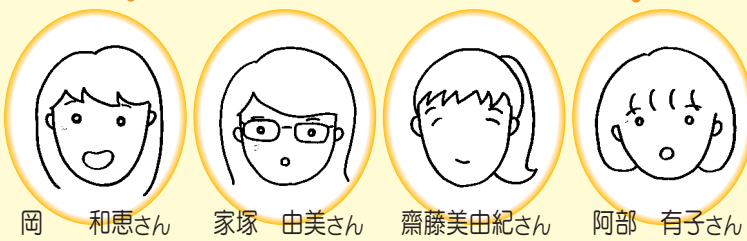
高い集客力と認知度を持
つ民間施設を利用した「ゆ
る・ぷら」は、皆さまのアイ
ディアを生かし、実現する
新たな場として、また人と
人とのつながりを広げ「ゆ
る・ぷら」を核とした各種
団体ネットワークを築いて
いくなど大きな夢も抱いて
います。

「ゆる・ぷら」では、ちよつ
とした発想や行動が生かせ
るように、柔軟な運営を考
えています。ここから元氣
が発信される、そんな施設
を目指します。

「ゆるぷら」施設案内



「ゆるぷら」スタッフ



**みんなで作る
交流ひろば**

皆さまが生き生きと活動することによって、人と人がつながり、地域への愛情がはぐくまればと思います。たくさんの方が利用して交流して来てよかったと思っていたことが「ゆるぷら」の願いです。

まだスタートしたばかりの「ゆるぷら」。よろよろ歩きで心もとないかもしれませんが、皆さまに育てていただきながら頑張ります。よろしくお願いいたします。

開館時間 10:00 ~ 18:00
(講座の開催などで夜間開館の場合もあります)

休館日 毎週月曜日
(月曜日が休日の場合は火曜日)

しばたまち交流ひろば「ゆるぷら」
TEL 86-3631
柴田町まちづくり推進課
TEL 55-2278

4月1日から

地域包括支援センターが

移転

今年4月から、地域包括支援センター業務を、社会福祉法人柴田町社会福祉協議会に委託の運びとなりました。

これに伴い、現在の柴田町役場健康福祉課内から、柴田町地域福祉センター（船岡字中島）に移転することとなりました。

地域包括支援センターの役割

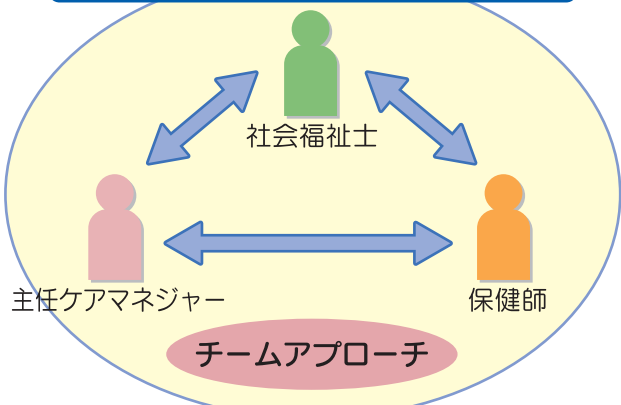
高齢者（65歳以上）が住み慣れた地域で、安心してその人らしい生活が継続できるよう、保健、医療、福祉サービスをはじめ、さまざまなサービスを必要に応じて、総合的、継続的に提供し、地域における包括的な支援を実現する役割を果たす総合機関です。柴田町では、平成18年4月から設置し町直営で業務を行ってきました。

委託を行う背景

柴田町における高齢者数は、現在約8,400人で、今後団塊の世代が高齢者となることから、7年後には1万人を超すと見込まれています。

地域包括支援センターの設置基準では、高齢者数が3,000人〜6,000人に3職種（保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員

地域包括支援センター



（主任ケアマネジャー）を置くこととなっています。このようなことから、今後、地域包括支援センターの増設や身近な生活圏域ごとに相談窓口（ランチ）の設置など、さらなる業務の充実が必要となってきます。

また、地域包括支援センターの委託状況を見ると、全国では64・6%（平成20年）が委託、宮城県内では68・9%（平成21年）と、10

6カ所中73カ所が委託となっており、近隣では岩沼市が平成20年度から、名取市が平成21年度から委託になりました。このような状況を踏まえ、地域包括支援センター業務を、介護保険法に基づいた社会福祉法人などに委託を行うものです。



ルディックウォーキング体験出前講座は、2年間で11回開催



町内の介護予防サークルが一堂に会した「介護予防推進大会」

委託になる主な内容

業 務	事 業 名	内 容
介護予防事業	一般高齢者介護予防普及啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> 介護予防出前講座 玄米ダンベル体操 ノルディックウォーキング体験など
	地域介護予防活動支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 介護予防普及サポーター支援事業 介護予防活動サークル支援 高齢者のランチを楽しむ会の支援
	特定高齢者把握事業	<ul style="list-style-type: none"> 基本チェックリストによる特定高齢者候補者の把握
包括的支援事業	総合相談業務	近所のひとり暮らしの高齢者が心配、認知症が不安、介護に関する相談や介護サービスへの不満などさまざまな相談に応じます。
	権利擁護（高齢者の権利を守ること）	<ul style="list-style-type: none"> 高齢者虐待の対応 成年後見人制度利用への支援
	包括的・継続的マネジメント事業（暮らしやすい地域のために）	さまざまな機関や職種と連携を取り高齢者の生活全体を支えます。
	介護予防ケアマネジメント事業	特定高齢者を対象に介護サービス計画の作成およびサービス利用の支援を行います。
任意事業	介護家族支援事業	<ul style="list-style-type: none"> 介護家族などのしゃべり場開催支援 介護家族会などの支援
指定居宅介護予防支援事業（要支援 1・2）	介護保険の予防給付の要支援者の認定を受けた方を対象に、介護予防サービス計画の作成、サービス利用に向けての関係機関との連絡調整を行います。	

移転先は
こちらです

- 委 託 先 ●
社会福祉法人
柴田町社会福祉協議会
- 場 所 ●
柴田町地域福祉センター
船岡字中島 68 番地
- ☎ 0224-86-3340
FAX 0224-86-3341
- 利 用 時 間 ●
午前 8 時 30 分から午後 5 時まで
- 休 業 日 ●
土・日、祝日、年末年始



柴田町長 滝口 茂

県北地域を起点にセントラル自動車やEVエナジー宮城工場が立地し、いよいよ宮城県にも自動車の生産拠点が形成されることにな

ります。

自動車産業は関連する産業のすそ野が広いため、地域経済への波及効果が大きいと期待される場所です。しかし、この不況で東北地方に進出し、地域経済の一翼を担ってきた縫製工場や部品工場、最近では外資系の企業が撤退し雇用不安が広がっている地域も出てきました。

日々競争にさらされている企業の経営戦略はシビアなもので、景気の動向や産業構造の変化によって、いつ地域から撤退を余儀なくされるかは分からないのです。

これでは地域が持続的に発展することは困難です。どんな不況に際してもしつかりと地域に根付いた産業を育てる必要があります。そのお手本となるのがイタリアです。

日本がジャパンアズナンバーワンとまではやされていた時期のイタリアの経済は低迷していました。しかし現在

地域に根ざした産業振興

では伝統や文化をものづくりに生かして、そこに行かなければ食べられない料理やそこでなければ買えない商品をブランド化することで世界中から観光客を集め活況を呈しています。

ハイテク産業や先端産業よりも食品、繊維、皮革製品、工芸品などの軽工業が元気なのです。ネット経済の時代においては、ほかで絶対まねできない良いものなら、世界規模で関心をもたれる時代です。

地元でいかに良いものを作り出すか。

それに挑戦しているのが障害者の授産施設である、くりえいと柴田や角田市にある虹の園の方々です。障害者だからといって安易なものづくりに走ることなく独自のこだわりを注ぎ、トルト商品の販売やピザハウスの経営、最近では米粉を使ったパンやパウンドケーキなどの商品開発でビジネスチャンスを広げています。

これからは企業誘致を図りながらも地域自らの知恵や文化ややる気をいかにものづくりに結び付けていけるかが地域発展のカギだと思います。

みやぎ県南中核病院 からのお知らせ

問 みやぎ県南中核病院 ☎51-5500 <http://www.southmiyagi-mc.jp/>

病院を受診される方に
名前を名乗ってもらう理由



当院では、受診される皆さまが安心して医療を受けられるよう病院全体で医療安全に取り組んでいます。取り組みの一つとして、名前を名乗っていただき、ご本人であることを確認させていただいております。検査や注射などの処置に伴いさまざまな職員が医療にかかわりますので、その都度名前を伺うことがあります。ご迷惑をお掛けいたしますがご協力をお願いいたします。

お子さんの 急な発熱や急なケガのとき

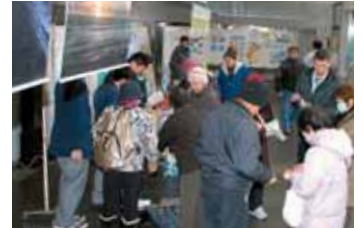
- こどもの救急ホームページ <http://kodomo-qq.jp/>
夜間や休日などの診療時間外に病院を受診するかどうか、判断の目安などを情報提供しています。(監修：厚生労働省 / 社団法人 日本小児科学会)
- 宮城県医療機能情報提供システム <http://medinf.mmic.or.jp/>
県内の医療機関の所在地や診療科、診療時間などの情報を提供しています。



「もったいない」は あなたが主役

町民会議
3

2月6日、槻木生涯学習センターで柴田町環境広場「もったいない」の集いを開催しました。当日は真冬日で大雪が降っている悪天候でしたが、150人もの方にご来場いただき、会場内は外の寒さを忘れるくらい盛り上がりました。



桂文喬さんのお話



『この世の中で大切なもの「環境・健康・人間味」』というタイトルで、水資源・マイバック・分別・3R (Reduce・Reuse・Recycle) など、幅広く環境について講演をいただきました。環境問題は難しい話になりがちですが、身近な話題を入れながらのお話はとてもわかりやすく、終始笑いに包まれたいい雰囲気での講演会となりました。



「今日くらい、私くらいやらなくてもいい」をみんなが考えたらどうなる？みんながやらないなら、私くらいはやろうという気持ちを持ってほしい。

文喬さんからのメッセージ

3つの“味”を持つことが大切

趣味

ボケないために。脳の活性化になる

興味

自分なりに考えるクセをつける

人間味

私くらいは…という考えはやめて

東北リコー(株)取り組み紹介



従業員への環境教育や製品を通じた環境保護など会社で取り組んでいることを紹介していただきました。

展示内容



環境大臣賞を受賞したマイバック作品や町内小中学生の標語・ポスター作品を展示しました。また、柴田農林高等学校の生徒による研究発表や下水道の仕組みの展示もありました。

広 告

広 告

まちかど NEWS



未来へ向けた新たな旅立ちの日



これからも変わらぬ友好関係を確かめ合いました

交流の絆をより深く

NEWS

1月29日、柴田町と岩手県北上市の姉妹都市締結30周年を祝う記念式典が、北上市から伊藤市長をはじめ市議会議員など30人の方々、町からも53人が出席し開催されました。滝口町長は「これまで30年にわたって培ってきた交流の絆をさらに発展していきたい」とあいさつ。続いて滝口町長と伊藤市長が姉妹都市宣言書に署名し、今後ますますの友好を深め合おうと熱い握手を交わしました。

降り注ぐやわらかな音色

NEWS

仙台フィルハーモニー管弦楽団のメンバーによる「弦楽四重奏演奏会」が、2月7日に槻木生涯学習センターで開催されました。この日は、「ベートーベン・弦楽四重奏曲第3番」や「魔女の宅急便」などの映画音楽まで親しみやすい曲を中心に全9曲を演奏。会場に響きわたるバイオリン、ビオラ、チェロの優しくやわらかな音色に訪れた200人は、うっとり聞き入っていました。



心に響くアンサンブルを楽しみました

広 告

広 告

気持ちを伝える伸びやかな文字

小中学校の児童生徒が年の初めにしたためた「書」の中から選ばれた作品を展示した「柴田町小中学校児童生徒書初め展」が2月20日から25日まで槻木生涯学習センターで開催されました。会場には、家族連れが訪れ、作品を見比べながら感想を話し合っていました。どの作品からも、伸びやかで美しい筆使いが見られ、子どもたちが一生懸命に練習した成果がにじみ出ていました。



新春の力作が並びました

男女がともに輝くまちに

男女がともに認め合うことをテーマにした「男女共同参画フォーラムinしばた2010」が2月13日に槻木生涯学習センターで開催されました。今年は、大崎市にある「あ・ら・伊達な道の駅」社長の佐藤仁一さんが講演。岩出山町長時代に制定した男女平等条例から経営手腕を發揮して年間350万人を集客する道の駅の話までアイデアあふれる戦略に参加者は聞き入っていました。



「女性の感性がまちの元気を生む」と話す佐藤さん



静寂を破る満身の一手

この一手で勝負

1月24日、「新春囲碁将棋大会」が槻木生涯学習センターで開催され、囲碁の部、将棋の部ともに32人ずつが参加しました。愛好者が楽しみにしているこの大会は、日ごろの練習の成果を發揮するとともに親睦を深めることを目的に毎年開催しています。大会は、腕前ごとに有段者、上級者、初・中級者のクラスに分かれて対局。静かな室内には、将棋を指す音と碁を打つ音が響いていました。

広 告

仙南青年文化祭 in 柴田

~青年たちの
パワフルな文化祭~

日時 / 3月7日(日) 9:30~16:00 場所 / 槻木生涯学習センター



仙南2市7町には「青年アーティスト」がたくさんいる。パワーあふれる芸達者や個性豊かな芸術家たち。そんな人たちが柴田町の同じ舞台に立つ。それが仙南青年文化祭。

熱いステージパフォーマンスのほか、美術作品展示やレクゲーム体験、ポップコーン無料配布、産直野菜の販売も予定。

青年たちのパワーが結集されたイベントは、大人から子どもまで楽しめ、たくさんの発見と感動があるはず。皆様のご来場をお待ちしています。



昨年の様子。今年もありとあらゆるジャンルの舞台発表が次々と展開します。

仙南青年文化祭実行委員会事務局 (生涯学習課内) ☎ 55-2135

こうほう 文芸

川柳

餅までも制限されるメタボ腹

四日市場 郷土 山櫻

どか雪で排水溝も雪づまり

四日市場 曳地 真翔

春一番吹いて飛ばされ新天地

上名生 西村 久子

白酒で頬に紅さす乙女たち

船岡 富山当茂子

愚痴一つ女が耐える台所

船岡 小野寺せつ子

何時までも親ばなれせぬ一人っ子

船岡 鈴木 智子

米寿など誰もきづかぬ長寿国

船岡 萩原 善助

祝日の旗町内で我が家のみ

船岡 島貫よし雄

川柳をほめる我が妻唯一人

槻木 大宮 二郎

政治家もオリンピックもみんな金

船岡 水戸 貞夫

今日こそはなにかしようとして手につかず

槻木 加藤 マサ

短歌

しがらみをぬぎ黄昏の春は今

にほいぞ清し折々の風

葦王嶺に生れし白雲ゆつくりと

峰を撫でていづこか溶けゆく

白鳥の飛来する町に暮らす冬

ひとときの光景に旅立ち近し

船岡 柄目けい子

船岡 沢田 順子

廣 告



夢空間 2010



heika (ペンネーム)



花ちゃん (ペンネーム)



だいすけ (ペンネーム)



お子さん(4歳まで)の写真をお待ちしています。写真の裏にお子さんの名前を必ず書いてください。投稿者の住所、氏名、電話番号、子どもの名前・生年月日を明記し、「ひとこと」を添えて応募してください。

こども美術館



「エモノをねらう
ねこ」

柴田小学校 3年
たくみ
高橋 巧己 さん



「キツネの親子が
ねているよ」

柴田小学校 4年
みほ
池田 美歩 さん

ふれあいマイタウンは、町民の皆さんからの応募・紹介でつくるコーナーです。俳句・川柳・短歌に興味がある(こほう文芸)、とてもすきな方なので紹介したい(人間もよう)、自己表現コーナー(夢空間 2010)、子どもの成長の写真やかわいい孫の写真を載せたいという方(町内にお住まいの4歳以下のお子さん)、はがき、手紙などで3月12日(金)までご応募ください。 ■連絡先/まちづくり推進課 ☎55-2278

広 告

広 告

ワン・ステップ One Step

まちの図書館づくり Vol.5

平成22年度のオープンを目指し、柴田町初の図書館設置に向けた準備作業が急ピッチで進行中です。準備作業は教育委員会生涯学習課職員のみならず、住民有志のボランティアの皆さまとの協働で準備作業を進めています。

このページでは、図書館立ち上げに向けた取り組みを情報発信していきます。



～図書館を支える「縁の下の力持ち」～

柴田町初の公立図書館が5月29日(土)、しばたの郷土館内(ふるさと文化伝承館内)に開館します。

この図書館には「縁の下の力持ち」が大勢います。「町に図書館を」と働きかけた方たち。行政と共に図書館の青写真を考えていただいた方たち。寄贈された図書の整理作業を行ってくださっている方たち。もちろん図書館へ本を寄贈していただいた方たちもそうです。

柴田町図書館は多くの縁の下の力持ちに支えられ、産声を上げます。



縁の下の力持ち

柴田町図書館友の会

柴田町図書館友の会は、図書館の開館をバックアップしようと、昨年結成されたボランティアグループです。現在「図書館開館後、自分たちがサポートできること」を中心に話し合いを行っているほか、町内の小中学校に出向いて保護者や子どもたちに図書の寄贈を呼びかける活動を展開中です。昨年の9月には、図書館支援チャリティーコンサートを実施し、その収益金を図書購入費として町に全額寄付していただくなど、図書館の開館を陰で支えていただいています。



ありがとう

図書の寄贈

13,617冊

(H22.2.16現在)

引き続き、図書の寄贈お待ちしております

～ぜひ寄贈していただきたい種類の図書です～

- ★エッセイ ★小説 ★人生論 ★児童書(絵本、クイズ本、なぞなぞの本、ゲーム本など) ★日曜大工の本 ★裁縫の本★着付けの本 ★手芸の本 ★料理の本 ★旅行の本★住宅・インテリアの本 ★園芸・ガーデニングの本
- ★各種スポーツに関する本 ★手紙・あいさつ・スピーチの本 など

■あて先(問合せ先)

〒989-1692 柴田町船岡中央2丁目3-45
柴田町教育委員会 生涯学習課
TEL.55-2135 FAX.55-2132
Eメール: social-edu@town.shibata.miyagi.jp

人口と
世帯数



38,744 人
(前月比5人増)



19,304 人
(前月比6人減)



19,440 人
(前月比11人増)



14,518 世帯 (平成22年2月1日現在)
(前月比10世帯減)